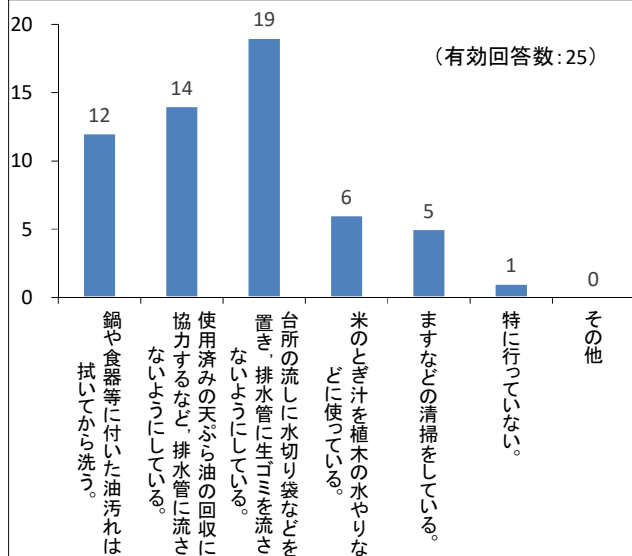


平成27年度上下水道モニター 下水道事業に関する上下水道モニター意識調査

【有効回答数：25】

（家庭からの排水について）

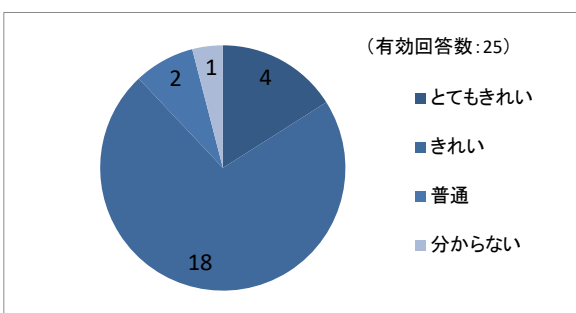
Q1 あなたが日頃、下水道を大切に使うために行っていることは何ですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。（複数回答）



1	鍋や食器等に付いた油污は拭いてから洗う。	12
2	使用済みの天ぷら油の回収に協力するなど、排水管に流さないようにしている。	14
3	台所の流しに水切り袋などを置き、排水管に生ゴミを流さないようにしている。	19
4	米のとぎ汁を植木の水やりなどに使っている。	6
5	ますなどの清掃をしている。	5
6	特に行っていない。	1
7	その他	0

（下水処理について）

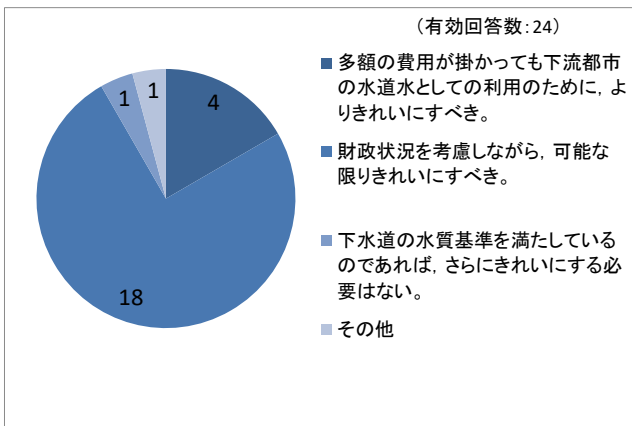
Q2 京都市の各水環境保全センターの放流水は、下水道の水質基準をクリアしているとともに、順次高度処理を取り入れることで、よりきれいにして放流しています。その放流水についてどのように思われますか。1つ選んでください。



1	とてもきれい	4
2	きれい	18
3	普通	2
4	あまりきれいではない	0
5	汚い	0
6	分らない	1
7	その他	0

（高度処理について）

Q3 市内河川の保全とともに、琵琶湖・淀川流域の中流域に位置する京都市として、大阪湾の水質保全や大阪市などの下流都市の水道水源を保全するためにも、今後更なる高度処理を推進していくところですが、下水処理した水質のレベルとして望ましいと思うものはどれですか。1つ選んでください。



1	多額の費用が掛かっても下流都市の水道水としての利用のために、よりきれいにすべき。	4
2	財政状況を考慮しながら、可能な限りきれいにすべき。	18
3	下水道の水質基準を満たしているのであれば、さらにきれいにする必要はない。	1
4	その他	1

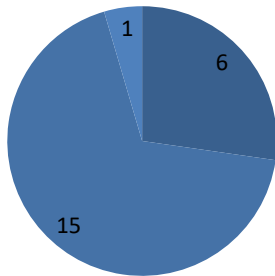
【その他の意見】

・財政面を考えると、京都市単独であれば2，下流域の協力があれば1が理想です。

(合流式下水道の改善について)

Q4 合流式下水道では、雨水と汚水(家庭から出る排水など)を同じ管で排除しています。そのため、雨天時に一定の量以上の雨が降ると、汚水の混じった雨水が河川などにそのまま放流されることがあります。その対策として、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

(有効回答数:22)



■ 多額の費用が掛かっても河川に処理していない下水を流すべきではない。

■ 財政状況を考慮しながら、河川に流す処理していない下水の量を減らすように取り組むべきである。

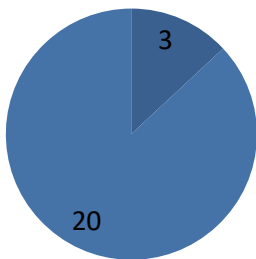
■ 現状で河川はきれいであると思うので、対策を急ぐ必要はない。

1	多額の費用が掛かっても河川に処理していない下水を流すべきではない。	6
2	財政状況を考慮しながら、河川に流す処理していない下水の量を減らすように取り組むべきである。	15
3	現状で河川はきれいであると思うので、対策を急ぐ必要はない。	1
4	分からない	0
5	その他	0

(浸水対策について)

Q5 京都市においては、浸水対策の目標を10年に一度の確率の大雨(62mm/時)への対応とし、雨水幹線や雨水貯留施設を整備しています。今後の浸水対策の進め方について、あなたの御意見に最も近いものを1つ選んでください。

(有効回答数:23)



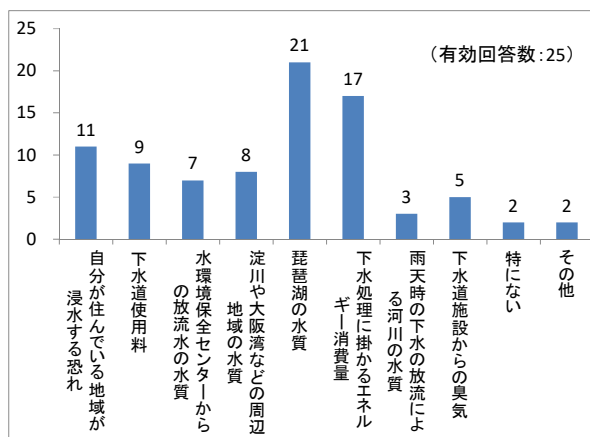
■ 多額の費用が掛かっても速やかに対策を進めるべきである。

■ 財政状況を考慮しながら対策をすべき。

1	多額の費用が掛かっても速やかに対策を進めるべきである。	3
2	財政状況を考慮しながら対策をすべき。	20
3	京都市内では大規模な浸水被害が発生していないため、対策を急ぐ必要はない。	0
4	分からない	0
5	その他	0

(下水道事業における今後の取組について)

Q6 現在の下水道や水環境において、あなたが関心を持っていることについて、当てはまるものすべてに○を付けてください。



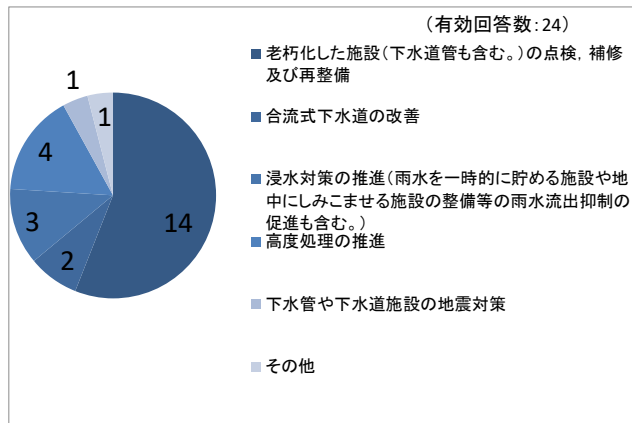
1	自分が住んでいる地域が浸水する恐れ	11
2	下水道使用料	9
3	水環境保全センターからの放流水の水質	7
4	淀川や大阪湾などの周辺地域の水質	8
5	琵琶湖の水質	21
6	下水処理に掛かるエネルギー消費量	17
7	雨天時の下水の放流による河川の水質	3
8	下水道施設からの臭気	5
9	特になし	2
10	その他	2

【その他の意見】

- ・子どもの頃に浸水した記憶があり、平成25年9月の台風時も堤防を越える寸前だった。他の部署や府・国と協力して対応すべき。
- ・市内各地域におけるサービスの差の有無、程度が気になる。

（優先的に行うべき取組について）

Q7 京都市の下水道事業において、最も優先的に行うべきであると思うものについて、1つ選んでください。



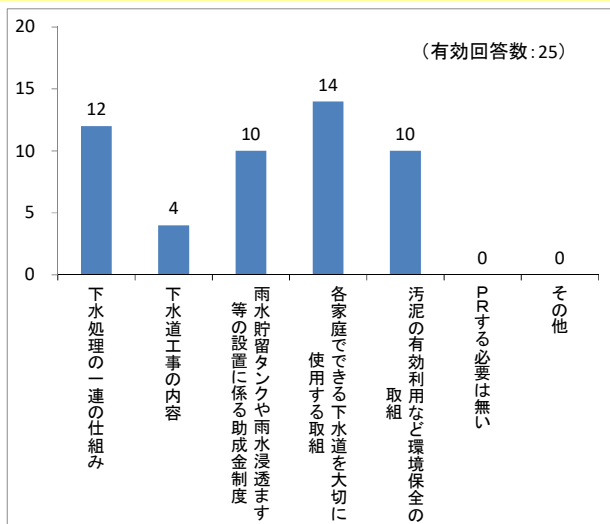
1	老朽化した施設（下水道管も含む。）の点検、補修及び再整備	14
2	合流式下水道の改善	2
3	浸水対策の推進（雨水を一時的に貯める施設や地中にしみこませる施設の整備等の雨水流出抑制の促進も含む。）	3
4	高度処理の推進	4
5	下水道未整備地域の解消	0
6	下水管や下水道施設の地震対策	1
7	その他	1

【その他の意見】

・分からない。

（下水道事業のPRについて）

Q8 京都市の下水道事業について、どのようなことをPRしていくべきと思いますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。



1	下水処理の一連の仕組み	12
2	下水道工事の内容	4
3	雨水貯留タンクや雨水浸透ます等の設置に係る助成金制度	10
4	各家庭でできる下水道を大切に使用する取組	14
5	汚泥の有効利用など環境保全の取組	10
6	PRする必要は無い	0
7	その他	0